

おやべ
小矢部市
シティプロモーション
ブック



メクブルメク

Oyabe Story

+ 小矢部物語 +



Prologue
ユラメク

目の前の扉をひらくと、

メクルメク世界が

私を出迎えてくれました。

ある日、迷い込んだ世界は、目が眩むような鮮やかさ。
ゆったりとした時間と瞬きするたびに違う表情に魅せられて。

まちが私を包みこんでゆく。



「メルヘンのまち」として有名な
小矢部市^{おやべ}。富山県の西に位置し、
砺波平野を貫流する小矢部川の潤
いと豊かな自然に包まれた、多彩
な魅力をもったまち。どこまでも
広がる田園に民家が点在し、日本
の原風景を感じます。

田園風景のなかにある西洋のお
城のようなメルヘン建築の数々。遠
く加賀・能登、立山連峰を一望で
きる稲葉山。春には夕焼けを映す
田んぼは、やがて黄金色に輝き、
冬には一面の雪化粧で季節を彩り
ます。美しい風景からふと目を移
すと、そこには人々の柔らかな笑顔
が…。

雄大な自然と美しいまちなみ、
人々の温もりにふれて、迷いこんだ
あなたはどんな物語をつむぐので
しょうか？
^{ストーリー}





くまのぬしぐさー。



多彩な魅力のまちが、
この物語が始まる。



クルクルと変わるまちの表情。
メクルメクル田舎。



温かい笑顔が

広がるまちで、

どんな出会いが

待っているんだろう？

子育てに最高。ストレスなく暮らしています

結婚を機に小矢部市に移住して10年、今は自宅で治療院を営んでいます。このまちは、妻の地元でもあるんです。

小矢部市は交通の便がいいので、こちらに引越しました。何より、安心して子育てができるのがいいですね。子どもたちが走り回って遊べるし、中学校3年生まで医療費は無料。学童保育も充実して待機児童はいません。こども園もきれいになりました。

ホッケーが盛んで、うちの子も

ホッケーをやっています。そのほかにもミュージカルやバレエなど、習いごとにも困りません。それに病院がたくさんあるので、「命が助かるよね」と周りの人と話したりしています。

近所には同年代の方が多く、ときどき自宅にお招きしてバーベキューを楽しんでいます。都会では考えられないですよ。

ここで暮らしていて、都会で感じていたストレスはほとんどありません。景色もきれいだし、落ち着いて長く住める場所だと感じています。

移住者 Interview

尾崎さんファミリー

尾崎哲哉さん／尾崎裕美さん
尾崎心南さん／尾崎桂都さん

子どもたちが元気に向かう先には…。

建物が学校なの？

え、あのメルヘンな



観覧車のあるアウトレットへ。

ショッピングだって楽しめちゃう。



スーパーの食材は
どれも新鮮！

図書館でリラックス。
開館したばかりの



学ぶ・遊ぶ・買う…暮らしに必要なものはすべて揃っている。子育てのしやすさも魅力！





まちにあふれる、
ふれあいと巡りあいにも、
もう一步踏み出してみよう。



地元の食材で心のこもったフレンチを

地元の高校を卒業後、京都の専門学校で学び、京都・木屋町のフレンチレストランで働いたり、台湾でお店を開いたりしていました。

小矢部市に戻ってきたのは6年前。開業にあたっては、市の空き家支援策や、駅前の商業支援策などの補助金を活用しました。

食材は、ほとんど地元産を使っています。海も山も近いから、新鮮なものが何でも揃うんです。それをフランス料理にして提供しています。

近隣の方だけでなく、お隣の石川県からもご来店いただいています。

金沢市と富山市の中間にあるので、それぞれにお住まいの方が、ここで会って食事をされるというケースも。駅も高速道路のインターチェンジもあるから来やすいんです。

お客様が都会ほど多くない分、ていねいなサービスを提供できるのがありがたいです。地元なので、精神的にも安定していられるし。

レストランを通して、小さかったお子さんの成長やお客様の変化を感じられる…そんな日が来ることを楽しみに、ここでお店を続けたいと思っています。



移住者 Interview

おやべの小さなビストロ
Marcassin (マルカッサン)
新井 博子さん



稲葉山から望む散居村

耳をすませば

自然の息吹が聞こえてくる。

透き通るような空気を
胸いっぱい吸いこんで、



源義仲騎馬像



俱利伽羅古戦場

歴史のページに
想いを巡らせて、
物語の世界を旅する気分。



おやべの獅子舞祭



津沢夜高あんどん祭

漆黒の夜を華やかに彩る
行燈に揺さぶられる心。
太鼓の音と心臓の音が重なる。



メルヘンおやべ源平火牛まつり



俱利伽羅小道(旧北陸道)

一年中、
自然が織りなす美しさに
圧倒される。



宮島峽 一の滝



城山公園



安楽寺の菜の花
「昇り竜」



安楽寺の花いっぱい運動
実行委員会
代表 中嶋 登志雄さん

市の補助を受けて、菜の花を育てています。当時の代表の話では、アウトレットモールの来場者をもてなしたいという気持ちで、始めたのだそう。春には黄金色の菜の花が、棚田の斜面を昇り竜のように埋めつくし、それは見事です。ぜひ、たくさんの人に楽しんでいただきたいです。

きらめいていた。

「人々の想い」が

目を細めるとそこには

顔を上げて眩しさには

自治会活動の一環で、市の指定天然記念物「日吉社の大杉」の保存事業を行っています。この大杉は樹齢約400年と古いので、お世話が欠かせません。日吉社には県指定の有形文化財「僧形神像」もあり、地域の方にとっても大切にされています。他の地域の方には「空気が違う、澄んでいる」とよく言われます。



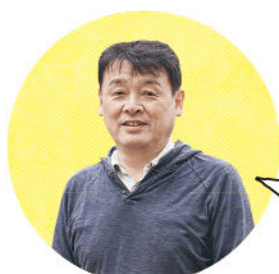
日吉社の大杉



杉谷内自治会
会長 福江 昇正さん



OYABEお宝マルシェ



石動まっちゃプロジェクト
理事長 田悟 謙三さん

いするぎ
石動駅周辺の活性化を目的に、商店街でコスプレ大会などのイベントを開催しています。ほかにも空き店舗の整備や起業の支援なども。商店街にかつての賑わいを取り戻し、次の世代にバトンを渡したいと思っています。新規出店の話が出るなど、少しずつですが、手ごたえを感じています。

特別 Interview

新聞部の活動は、年に2回「学窓新聞」を発行するほか、学校や地域の行事などに合わせて速報を出したりしています。

入部の動機はパソコンに慣れたとか、文章を書くのが好きだからとか、語彙力を高めたいからとか、人それぞれです。

「学窓新聞」は部員みんなで作成を考え、記事ごとに役割を分担して作成しています。アポ取りから始まって、取材、記事の作成、写真撮影までぜんぶ自分たちでするんです。文章をまとめたり、紙面レイアウトが



キラメク次代の光



単調にならないように工夫したりするところが難しいですね。

取材で地域に出ることもありますが、いろんな方と出会えるのが楽しみです。みなさん優しく、温かくて、高校生の活動にとっても協力的です。地域の活動に私たちが誘ってくださるなど、地域と学校がとても近い感じがします。

学校や地域に新聞を貼り出して、読んでくださっている人を見たときは、本当にうれしいです。

小矢部はシンボルキャラクターの「メルギューくん」と「メルモモちゃん」が可愛いし、メルヘン建築も大好き。

もつと部員を増やして、まちの魅力をどんどん発信していきたいです。全国高校総合文化祭には6年連続で出場しているので、それも継続していきたいです。

石動高校新聞部

お話をうかがったのは、部長の根尾 海咲(みさき)さん、副部長の辻 朋伽(ともか)さん、西尾 紗弥(さや)さん、西尾 真弥(まや)さんの4名。現在は、23名の部員が活躍中。



新鮮で
安心・安全!

小矢部の 米 (my) たまご

養鶏場とコメ農家のコラボから生まれた卵。鶏は、市内で栽培された富山のおいしいお米を配合した餌で育っています。



独自の
製造技術!

おやべ ホワイト ラーメン

白い豚骨スープに肉味噌をトッピング。地元食材もたっぷり使ったご当地ラーメン。肉味噌を溶かして味の変化を楽しんで。

感動の記憶が浮かんだ。

人がつないできた

心を躍らせる大地の贈り物。

みのわ ツイン瓦

地元の良質な粘土からつくられる屋根瓦。超高熱処理による耐圧性・断熱性の高さが自慢。北陸の住まいにぴったり。

伝統食を
現代の味に!

ニシンの ころじ 糍漬け

伝統食であるニシンの米ぬか漬けに糍を加え、現代風にアレンジ。風味がアップし減塩にも成功。ご飯やお酒によく合います。

地産地消で
だれからも愛される
こだわりの味!





小矢部で育まれた
厳選米!

メルヘン 米

有機物入りの肥料で栽培されたコシヒカリ。生産工程も徹底管理された安心・安全な米です。もちろん食味もいうことなし。

おやべ 火ね鶏

ハーブエキス配合飼料で肉質を改善した親鶏の肉。若鶏より濃厚な味で、こりこりとした食感。噛めば噛むほどおいしい!



市内養鶏場と
タッグを組み開発!

ここで出会える!

道の駅メルヘンおやべ



農家の方が毎朝、新鮮な野菜を並べてくださり、豊富な特産品が安く手に入ると評判です。地元産の卵や「昆布もち」も大人気。レストランもあり、ご家族で楽しめます。



道の駅メルヘンおやべ
駅長
石川 玉貴さん

ポップアップショップなどのサプライズもあるかも。高速インターのすぐ近く。お待ちしております!

バラの 切り花

富山県一の出荷量を誇るバラ。水耕栽培で育てられた色とりどりのバラに囲まれ、メルヘン気分。



メルヘンを表現する
特産品!

小矢部ブランドや
レシピを紹介!



小矢部の地域特産品
小矢部ブランドHP

こちらからも
小矢部市の特産品を
チェック!



ふるさと納税サイト





人生は物語。むじゃきな子どもがやがて親となり、歳を重ねて穏やかに暮らす…小矢部市ではライフステージに合わせて、あなたをサポートする施設や制度・サービスが充実。
妊産婦や子どもの医療費助成、大学生などへの奨学金。働く場所もあるし、移住者支援もバッチリ。親や自分が高齢になっても、いつまでも安心して暮らせそう。そしてまわりにはいつでも、支えてくれる人の笑顔がある。
そんな小矢部で、新しい物語の第一章を始めませんか？

ここで暮らす夢を見た。
まちが、人が、
支えてくれる安心に、
もう少しだけまどろみの中。



小矢部ホッケーフィールド
by三井アウトレットパーク



こども園



子育て支援センター

pick up!
有効求人倍率
県内トップ
クラス!



おやべ
GIGAスクール構想



こども医療費助成制度

pick up!
待機児童
0人!

ラウベ小矢部
田舎生活の体験を通して
二地域住居の促進を図る
ための生活体験施設。





レインボーサークル
(閉じこもり予防教室)

pick up!

高齢者等の
市営バスの
無料化



ELABO (イーラボ)
LiTa Oyabe

ワーキングや勉強、自
分時間に、イベントにも
活用できるコミュニティス
ペース。

pick up!

空き家バンク
活用リフォーム
助成金あり



コミュニティビル
『める・びる』

石動町商店街・駅周辺
の地域活性化や賑わい
創出を目的に空き店舗を
リノベーション。



オレンジカフェ (認知症カフェ)

小矢部に
住みたくなったら
こちら!



小矢部市移住定住サイト
おやべで暮らそう!

就職を考えている
あなたは
こちら!



とやまUターンガイド

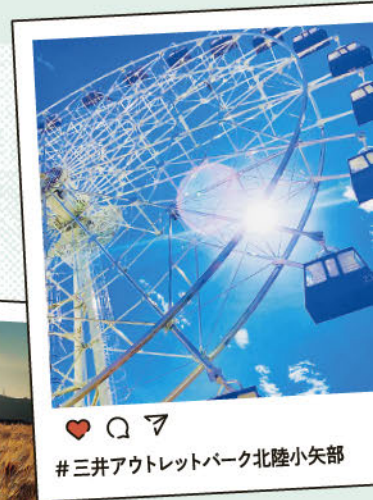
小矢部市での
子育てについては
こちら!



小矢部市
子育て応援サイト

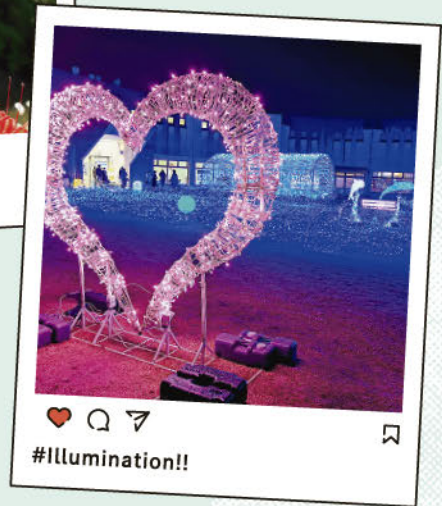
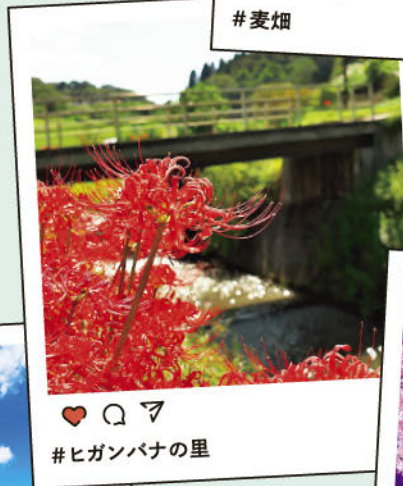


Epilogue
ヒラメク



#メクルメク小矢部物語

だれにだって、いつだって、
物語が生まれるこのまちで、
みんなの物語を
知りたくなった。





美しい自然やかわいい建物など、見どころいっぱいのおやべ。その感動をみんなでシェアしましょう。
 「#oyabe3651」
 「#メクルメク小矢部物語」を付けて、インスタグラムに写真を投稿するだけで、あなたの物語が、世界に広がります。



#メクルメク小矢部物語
 はこちらを
 Check!



Instagram

公式Instagram
 はこちらを
 Check!



Instagram



Oyabe city info

アクセス

東京より

- 🚆 列車で約3時間
- 🚗 車で約5時間30分
- ✈️ 飛行機で約1時間
(小松・富山空港)

名古屋より

- 🚆 列車で約3時間30分
- 🚗 車で約2時間30分
- 🚌 高速バスで約3時間

大阪より

- 🚆 列車で約3時間30分
- 🚗 車で約4時間



札幌より

- ✈️ 飛行機で約1時間30分
(小松・富山空港)

福岡より

- ✈️ 飛行機で約1時間15分 (小松空港)

仙台より

- ✈️ 飛行機で約1時間 (小松空港)

※小松・富山空港より北陸自動車道小矢部インターチェンジまで約40分です。

イベント

春 Spring



石動曳山祭

夏 Summer



おやべ川花火大会

秋 Autumn



ミニSLフェスタ in おやべ

冬 Winter



おやべイルミ

📍 小矢部市をもっと知りたい方はこちら 📍

小矢部で暮らしたい!



小矢部市移住定住サイト
おやべで暮らそう!

小矢部を味わいたい!



小矢部の地域特産品
小矢部ブランドHP

小矢部を楽しみたい!



小矢部市観光協会HP

その他情報発信中!



公式
Instagram



OYABE
ふるさと通信局

小矢部市
シティプロモーションブック

発行年月: 令和4年3月 発行: 小矢部市役所
〒932-8611 富山県小矢部市本町1番1号
電話番号: 0766-67-1760 <http://www.city.oyabe.toyama.jp>